

2020 年 度 事 業 報 告 書

2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人地域ケアネットワークゆいまある

1 事業の成果

感染対策を最優先に、地域で暮らす高齢・障害者約490人の在宅生活を守り、担い手約100人の雇用を維持した

1) 持続可能なゆいまあるに向け

- ・SDGs を学び、中期計画にどう組込むかのスタートとして、まずは職員全員、在宅研修を実施し、各自が「17の目標」のうち「業務に関係あると思うもの」を選び、その目標にどのように取り組んでいけばよいか考えた。この研修報告をベースに今後の進め方を検討していく。
- ・世代交代に備えて役員候補や事業統括候補準備を進め、2021年度の組織改編につなげることができた。
- ・他団体（リカバリーカレッジポリフォニー）とのパートナーシップ等、新たな連携を進めた。

2) 食事業の再建～自立に向け

- ・1稼働100食達成目指したが、結果、80食平均で着地、未達成だったが、地域のケアマネへのアピールにより連携が強まり、少しずつ効果も上がってきた。
- ・栄養士業務、調理業務、それぞれの属人性からの脱皮～標準化は年度内には困難だったが、献立の整理やシステム改善等、次年度の新体制に繋がった。

3) 在宅支援強化のため

- ・コロナ対応；利用者への介護が途切れないよう、入念な感染対策を講じながら事業を継続した。換気設備等必要なかかり増し経費は東京都や東久留米市の支援金でまかなうことができた。
- ・情報機器についても介護労働安定センターに相談し、上記支援金も一部充当して導入を進めている。

2 事業の実施に関する事項

1) 特定非営利活動に係る事業

(2) その他の事業…収益事業は行わない

事業名	内 容	実 施 日 時	実 施 場 所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
ホームヘルプ事業	介護保険、市の総合事業、障害、制度外等の身体介護、生活援助などの訪問介護。学生の研修受け入れ。	365日 7時～22時	東久留米市内及び近隣の利用者宅	35人	高齢・障害 140人/月。 研修受入は近隣大学生等。	56,144
デイサービス事業	介護保険及び総合事業等の通所介護。食事、送迎、入浴、機能訓練、他。	8時半～17時 月～金 (年末年始休)	ゆいまある南沢ダイルーム	11人	高齢・障害 12人/日平均	28,606
居宅介護支援事業（ケアマネジメント）	介護給付及び、予防給付のケアプラン作成、サービス調整、モニタリング、認定調査など。福祉相談、認知症カフェ支援。	月～金 9時～17時半 緊急電話は 365日24時間	ゆいまある南沢事務所～市内利用者宅	6人	利用者；介護 191人/月、予 防32人/月 相談は誰でも	31,015
食事サービス事業	市の生活支援及び、支えあいの配食や安否確認。高齢者会食会への食事提供等。 コミュニティカフェの運営	月～土の昼 火～金の夕 随時	南沢事業所厨房でつくり、市内利用者宅へ カフェ笠松	28人	高齢・障害 190人/月 住民・ボランティア50人/月	38,917
小規模多機能型居宅介護事業	予防含む介護保険の認定者対象で24時間365日、馴染みの関係で行う地域密着包括ケア。研修受入。	365日 24時間	ゆいまあるはちまん及び近隣の利用者宅	12人	登録人数 19人/月平均	44,666